

教科目名 景観デザイン (Landscape Design)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1年 (教育プログラム 第3学年 科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>近年,わが国のまちづくりや都市施設づくりにおいては,周辺の街並みや自然環境との調和をめざした「景観デザイン」は必須の知識と考えられている.今年度の講義では,都市景観の中心をなす街路景観を対象に解説する.特に,公共施設を中心とする歩行者空間の景観デザインについて詳述したい.なお,美しい景観づくりには,まずわが国の景観問題の現状を認識することが必要である.本講義では現地のフィールドワークを通じて,より良い景観とは何かを考え,それをレポートにまとめ,皆の前で発表するプレゼンテーションを重視している.</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標(E1), JABEE 目標(d2a)	
<p>(1) 景観デザインに関する基礎知識を理解できる.(定期試験) (2) フィールドワークを通じて,景観デザイン上の問題を発見でき,解決の方策を提示できる.(レポート) (3) 景観レポートでまとめた内容をプレゼンテーションでき,質疑応答ができる.(プレゼン)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 景観デザイン序説	景観の定義と基礎的用語を学ぶ.	【理解の度合い】
2	2. 景観デザイン序説	各地の美しい景観を知る.	
3	3. 現地視察	大分市内の景観の現状を理解する.	
4	4. フィールドワーク	フィールドワークの調査手法を学ぶ.	
4	(1)調査手法	レポート課題に即しフィールドワーク	
5	(2)現地調査	を行い,景観デザインの現状と問題点を	
6	(3)レポート作成	理解する.	
7	(4)プレゼンテーション	現地調査結果のまとめ方を学ぶ.	
8	(5)プレゼンテーション	プレゼンテーションができる。	
9	5. 景観法	景観法の背景と意義,制度内容について	
10	6. 景観法	理解する.	
10	7. 街路景観のデザイン	景観計画の事例を学ぶ.	
11	(1)シンボルロード	街路のプロポーショナルを理解する.	
12	(2)生活道路	シンボルロードの定義と役割を学ぶ.	
13	(3)歩行者空間	生活道路のデザインについて理解する.	
14	(4)歩行者空間	歩道の機能,舗装の種類と機能等につい 理解する.	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
<hr/>			
履修上の注意	景観問題に興味を持つ学生の受講を望む.また,適宜プリントを配布するので,ファイルを用意しておくこと.		【総合達成度】
教科書	石井一郎編著『都市景観の環境デザイン』,森北出版		
参考図書	松原隆一郎,『失われた景観』,PHP 新書		
事前準備学習	事前に参考図書を読んでおくこと.		
関連科目	交通システム工学,環境計画(C科),都市計画(C科),地域計画学,交通工学(C科)		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する. 総合評価=0.7×定期試験の成績+0.2×レポート+0.1×プレゼン 総合評価が60点以上を合格とする.		【総合評価】 点